

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスばにいすまいる			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月15日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	15人	(回答者数)	12人	
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和6年11月15日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	5人	(回答者数)	5人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないように、子どものニーズに応じて内容が工夫されている	野外体験や製作活動、お出かけ活動、買物体験等、子どもたちに応じて成長につながる様々な活動を計画している。宿泊活動を実施している。	保護者様の意向を取り入れながら、施設の設備環境の強味を生かし活動内容を充実させていく
2	保護者と職員との間で、日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解がなされている	送迎時の伝達に加え、年度初めの面談の実施、必要な児童に関して保護者との定期的な面談を行っている	保護者会の定期的な実施を行う
3	定期的に通信やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が、子どもや保護者に対して発信されている	ホームページでの活動報告や月一回の通信の発行を行っている	ホームページの整備や、通信に載せる内容を工夫する

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者への周知・説明がなされているか	契約・重要事項の説明の際に、保護者様に対して説明を行っているが、不十分なのだと考えられる	年度に1回通信等での周知と避難訓練の際に周知を行う
2	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	今年度事業所の移転をし、以前より部屋は狭くなっている	活動内容やスペースの使い方を工夫し、現在の事業所でも充実した支援が行えるようにする
3			